

教科	家庭科	学年	第 2 学年
----	-----	----	--------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 衣食住の生活(食の生活) 3 さまざまな食品とその選択 ・ 生鮮食品の選択と保存 ・ 加工食品の選択 ・ 食品の安全と情報	6	・食品が食卓にのぼるまでの流れを理解しよう。 ・生鮮食品の特徴を理會し目的に応じた選択・保存ができるようになる。 ・加工食品の特徴を理解する。 ・食品の情報を正確に読み取り選択できるようにする。	・食品が食卓にのぼるまでの流れについて理解している。 ・生鮮食品の特徴と表示の見方保存方法を理解している。 ・加工食品の特徴について理解している。 ・食品の安全を保つ仕組みについて理解している。	・食品の生産から消費における問題点を見いだして課題を設定している。 ・加工食品の表示の意味を理解し用途に応じた選択について考え工夫している。	・食品選択における、自分の判断方法を振り返り改善しようとしている。 ・食品の安全や情報から選択について振り返って改善しようとしている。
4、日常食の調理 ・調理の計画 ・おいさと調理 ・肉の料理 ・魚の料理 ・野菜の料理	18	・献立を決め、食品の調理上の性質を生かした調理の要点をまとめる。 ・調理に必要な手順や時間を考え、調理計画を工夫する。 ・調理実習の準備をする。 ・安全と衛生に気を付けて調理をする。 ・「おいしさ」とは何だろうか。考えてみよう。 ・肉の特徴と調理上の性質を理解して調理計画を立てる。 ・魚を美味しく安全に調理する計画を立てる。 ・野菜を美味しく安全に調理する計画を立てる。	・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。 ・材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。 ・香りと味は関係深いことを理解する。 ・配膳や盛りつけの基本、食事のマナーについて理解する。 ・調理の目的や食材に合った取り扱いができる。	・日常の1食分の調理について問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫している。 ・「おいしさ」について、今までの学びを総合的に振り返り考える。 ・調理に合ったつけあわせを工夫する。 ・調理の手順を見直し課題を改善しようと工夫する。	・日常の1食分の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・五感に関心を持ち、自分の言葉で表現しようとしている。 ・衛生や安全に配慮しながら仲間と協働して調理作業に取り組んでいる。

C 消費生活・環境 ・家庭生活と消費 ・消費生活のしくみ ・家庭生活における収入と支出 ・購入・支払いと生活情報 ・消費者被害と自立 ・持続可能な生活	9	・計画的な金銭管理の必要性を理解する。 ・三者間契約の仕組みについて理解する。 ・消費者に関わるトラブルなどの実際の例を取り上げ、その解決方法について考える。 ・実際の消費生活と結び付け、消費者の権利や責任について理解する。	・計画的な金銭管理の必要性について理解している。 ・消費者トラブルの事例とその対応について理解している。 ・消費者トラブルを未然に防いだり解決したりするための方法を考え、工夫している。 ・消費者の基本的な権利と責任について理解している。	・自分に合った金銭管理の方法を考え、工夫している。 ・自立した消費者としての消費行動について考え、工夫している。	・計画的な金銭管理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・消費者トラブルの対応について、課題の解決に主体的に取り組む、生活を工夫し創造し、実践しようとしている ・消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的
生活の課題と実践	2	・学習してきたことを生かし、改善する点や課題はないか、自分や家族の食生活を見直す。 ・課題を解決したり、より豊かな生活にしたりするための工夫を考え、計画を立て実践する。		・自分や家族の食生活や消費生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・自分や家族の食生活や消費生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。